

水稲早生品種「なっほのか」 栽培のポイント



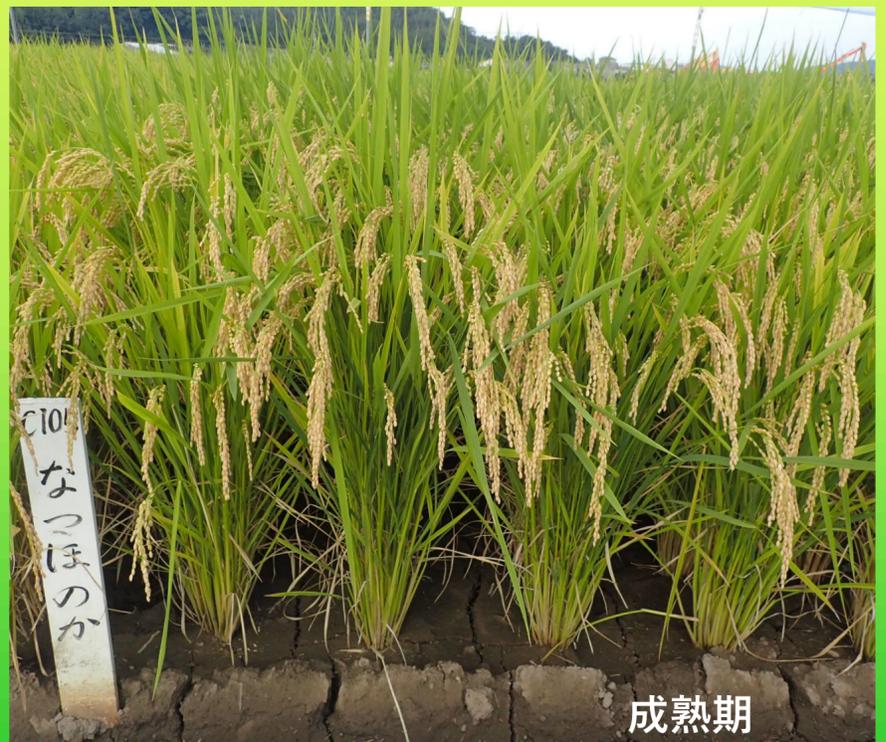
移植10日後



穂ばらみ期（移植50日後）



穂ぞろい期



成熟期

令和7年3月

大分県農林水産研究指導センター
農業研究部 水田農業グループ

「なつほのか」の特徴

水田農業グループ（宇佐市、標高8m）における「ヒノヒカリ」との比較



生育初期(移植23日後)の様子
(茎数20本/株程度)

生育特性

- ①収穫の早い**早生品種**（出穂期は5日、成熟期は7日程度早い）
- ②生育初期は稲体がしなやかで葉が垂れる
- ③稈長・穂長は同程度、穂数はやや多い
- ④耐倒伏性は同程度

移植期	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏程度
				cm	cm		
6月25日頃	なつほのか	8月22日	10月7日	86	19.9	408	0.9
	ヒノヒカリ	8月27日	10月14日	89	19.6	391	1.0
	差・比	-5	-7	-3	+0.3	104	-0.1

注1)表中の値は、10か年(2013~2017、2020~2024年)の平均値。
注2)差・比の値において符号のあるものは差、ないものは比を表す。
注3)倒伏：0(無)、1(微)、2(少)、3(中)、4(多)、5(甚)。

収量・品質特性

- ①千粒重が1~2g程度重く、**1割程度多収**
- ②検査等級は同程度~優れる
- ③**高温登熟耐性**を有する（白未熟粒が出にくい） **なつほのか**
- ④玄米のタンパク質含有率は同程度、味度値は高い
- ⑤**大粒**で、食味官能総合値は同程度



なつほのか

ヒノヒカリ

移植期	品種名	玄米重	千粒重	検査等級		玄米 タンパク質 含有率	味度値	食味 官能 総合値
				1.7mm 調製	1.85mm 調製			
		kg/10a	g	(1-10)	(1-10)	%		
6月25日頃	なつほのか	656	23.3	6.0	4.6	7.0	81	-0.09
	ヒノヒカリ	594	21.5	6.2	5.4	6.9	75	0.00
	差・比	110	+1.8	-0.2	-0.8	+0.1	+6	-

注1)表中の値は、10か年(2013~2017、2020~2024年)の平均値。
注2)差・比の値において符号のあるものは差、ないものは比を表す。
注3)玄米重は1.70mmふるいで調製。玄米重、千粒重、玄米タンパク質含有率：水分14.5%換算値。
注4)検査等級は、1~3(1等上・中・下)、4~6(2等上・中・下)、7~9(3等上・中・下)、10(規格外)。
注5)食味官能試験の基準品種は、水田農業グループ場内産ヒノヒカリを供試。

【参考】

試験地 (標高)	移植期	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏程度	玄米重	千粒重	検査等級		玄米 タンパク質 含有率	味度値	食味 官能 総合値
											1.7mm 調製	1.85mm 調製			
					cm	cm	本/m ²	(0-5)	kg/10a	g	(1-10)	(1-10)	%		
玖珠町 (340m)	5月31日頃	なつほのか	8月12日	9月29日	80	18.7	394	0.0	541	23.1	3.5	2.0	6.6	84	-0.09
		ヒノヒカリ	8月21日	10月12日	91	18.1	372	0.0	518	22.0	3.3	2.3	6.2	79	-0.07
		差・比	-9	-13	-11	+0.6	106	±0.0	104	+1.1	+0.2	-0.3	+0.4	+5	-
宇佐市 (8m)	6月10日頃	なつほのか	8月13日	9月22日	87	20.2	370	0.5	647	23.3	4.5	3.9	6.8	76	0.06
		ヒノヒカリ	8月20日	10月2日	91	19.8	367	0.5	585	22.0	5.8	4.8	6.6	71	0.15
		差・比	-7	-10	-4	+0.4	101	±0.0	111	+1.3	-1.3	-0.9	+0.2	+5	-

注1)玖珠町のデータは、3か年(2015~2017年)の平均値。
注2)宇佐市のデータは、水田農業グループにおける8か年(2015~2017、2020~2024年)の平均値。



ここが大切！7つの栽培ポイント

「なつほのか」の生育目標

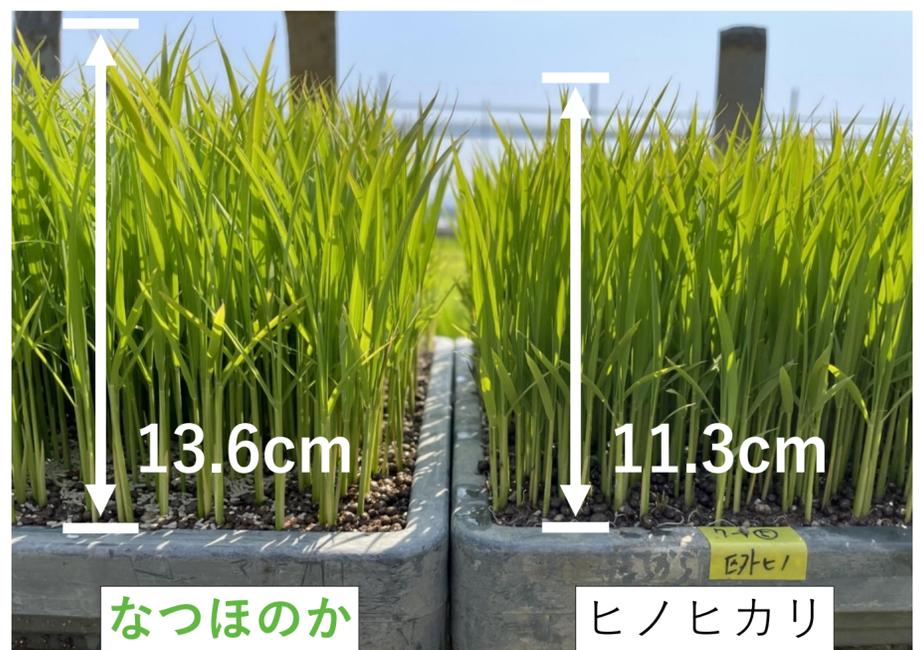
最高分けつ期	成熟期	収量構成要素					収量
		茎数	稈長	穂数	籾数	登熟歩合	
本/m ²	cm	本/m ²	粒/穂	粒/m ²	%	g	kg/10a
450~500	85	350	85	3万	85	23~24	600

① 苗の伸ばしすぎに注意

- 「なつほのか」は「ヒノヒカリ」に比べて、**苗が伸びやすい**ため、緑化と硬化は「ヒノヒカリ」より1~2日早く開始し、**3cm程度で被覆資材を外し**屋外に広げましょう。



播種3日後の苗の比較



播種20日後の苗の比較

② 苗箱施薬は必須

- 「なつほのか」は「ヒノヒカリ」と同様に**いもち病に弱い**ため、**必ずいもち病に効果のある育苗箱施用剤**を使用しましょう。
- ウンカ対策**として、**トリフルメゾピリム成分**を含んだ薬剤の使用が有効です。

③肥料は施肥基準量を守る

- ・窒素施肥量は以下の施肥量が基本です。
- ・**堆肥を多量に施用した圃場や肥沃な圃場**では倒伏防止、いもち病防止のため、**基肥を減量**しましょう。

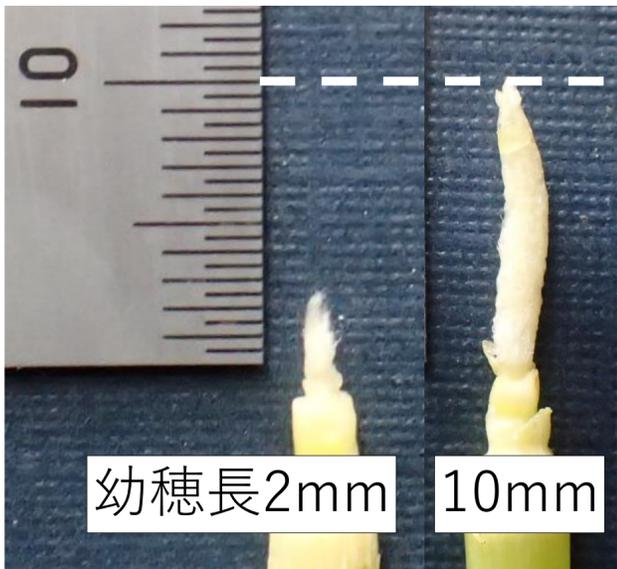
分施肥体系

基肥	穂肥	
窒素施肥量 kg/10a	窒素施肥量 kg/10a	施用時期
4	3	幼穂長2～10mm (出穂22～17日前)

全量基肥(一発肥料)

基肥	備考
窒素施肥量 kg/10a	
7	移植同時施用の場合は 溶出期間 90日タイプ を使用する。

※施用時期が移植より極端に早い場合は、
溶出タイプを考慮すること。



分施肥体系の場合、穂肥施用のタイミングは**幼穂長2～10mm**(出穂22～17日前)です。「ヒノヒカリ」より出穂が早いため、**遅れないように注意**しましょう。

④適切な栽植密度

- ・安定的な収量、品質を確保するため、植付株数は**坪あたり50～60株**(株間22～18cm)を目安としましょう。
- ※極端な疎植は、莖数不足により穂数が確保できず収量が低下する恐れがあります。
- ※極端な密植は、過繁茂による病害虫発生や倒伏を助長します。

⑤中干しと間断灌水で生育をコントロールする

- ・生育状況に合わせて、**中干しを確実に実施**しましょう。**莖数が1株20本程度**になったときが、中干しを開始する目安です。
- ※田の表面が軽くひび割れる程度まで実施してください。
- ・中干しをすることで、**倒伏軽減**や**登熟向上**につながります。
- ・早期落水は避け、収穫に支障が出ない程度に**収穫直前まで間断灌水**を行いましょう。

⑥病害虫に要注意

- ・病害虫の発生を助長する多肥や極端な密植栽培を避け、**発生予察情報**に基づいた防除を行きましょう。
- ・**いもち病**には「ヒノヒカリ」と同様に**弱い**ため、**防除を徹底**しましょう。
※葉いもちの発生を確認した場合は直ちに防除してください。
- ・「なつほのか」を「ヒノヒカリ」作付地域に植える場合、**出穂が早い**ため**カメムシ類が集中**します。**適期にカメムシ防除**を徹底しましょう。



葉いもちの病斑



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



イネカメムシ



アカスジカスミカメ

斑点米カメムシ類

写真出典 病害虫対策チーム原図

**トビイロウンカについては、
県が発表する警報・注意報に注意し、
対策を行ってください！**



↑ **発生予察情報**は
こちらのサイトで確認できます
(病害虫対策チームHP)

⑦適期収穫

- ・収穫適期は**青糲率**が**10～15%**のときです。
出穂期後からの積算温度(日平均気温の積算値)は
1050～1150℃(早限：1000℃、晩限：1200℃)です。
※早刈は青未熟粒、刈遅れは茶米や胴割れ米が多くなり、品質・食味ともに低下します。

「なっほのか」栽培管理の目安

平坦地

中山間地

防除 ✔ 必須防除
✔ 状況に応じて実施

防除 ✔ 必須防除
✔ 状況に応じて実施

月	上	中	下	平坦地	中山間地
5月					播種
6月	播種			✔ 種子消毒	移植
				✔ 苗箱施薬	
		移植		✔ 除草剤散布	
7月		中干し		✔ 害虫防除	中干し 茎数20本目安
				✔ いもち病防除	穂肥
8月	穂肥			✔ 病害虫防除	出穂期
				✔ 病害虫防除	
		出穂期		✔ 病害虫防除	
9月				✔ 害虫防除	
10月		成熟期			成熟期

発行 大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ

問い合わせ先

- 各振興局 生産流通部 集落営農・水田畑地化班(南部振興局は営農・畑地化・畜産班)
 - ・東部振興局 TEL.0978-72-1141
 - ・中部振興局 TEL.097-506-5791
 - ・南部振興局 TEL.0972-22-1195
 - ・豊肥振興局 TEL.0974-63-1301
 - ・西部振興局 TEL.0973-23-2217
 - ・北部振興局 TEL.0978-28-2304(宇佐) TEL.0978-28-2303(中津・豊後高田)
- 大分県 水田畑地化・集落営農課 TEL.097-506-3596



↑大分県のお米に関するページ
 (栽培技術情報)